

図書館医学部分館演習室予約システムの内製開発

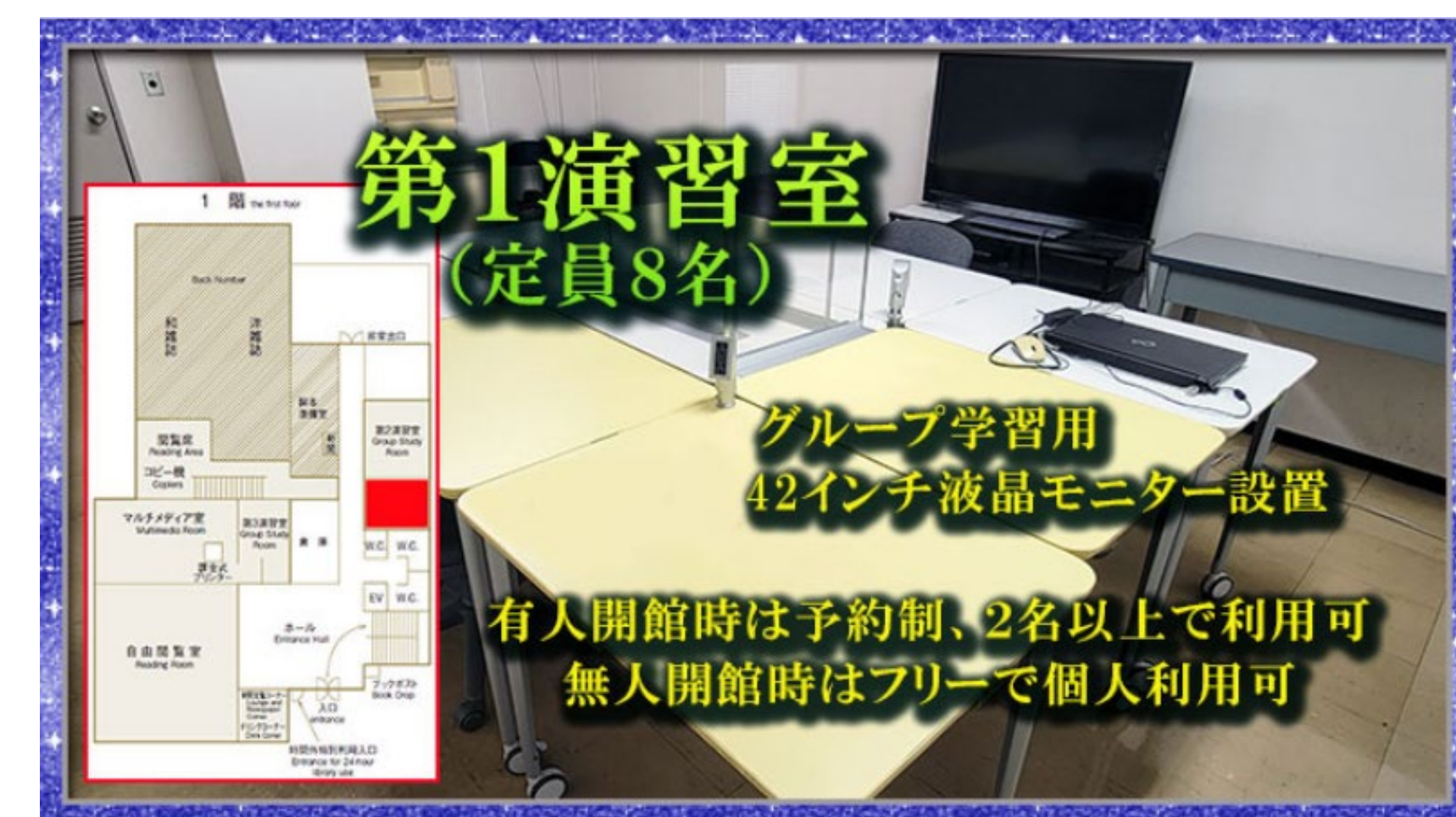
材木 朱夏

香川大学学術部情報図書課

1. 背景・課題

図書館演習室（グループ学習室）：利用は予約制で、従来は紙の申請書と紙の予約表で予約管理していたが、以下の課題が発生

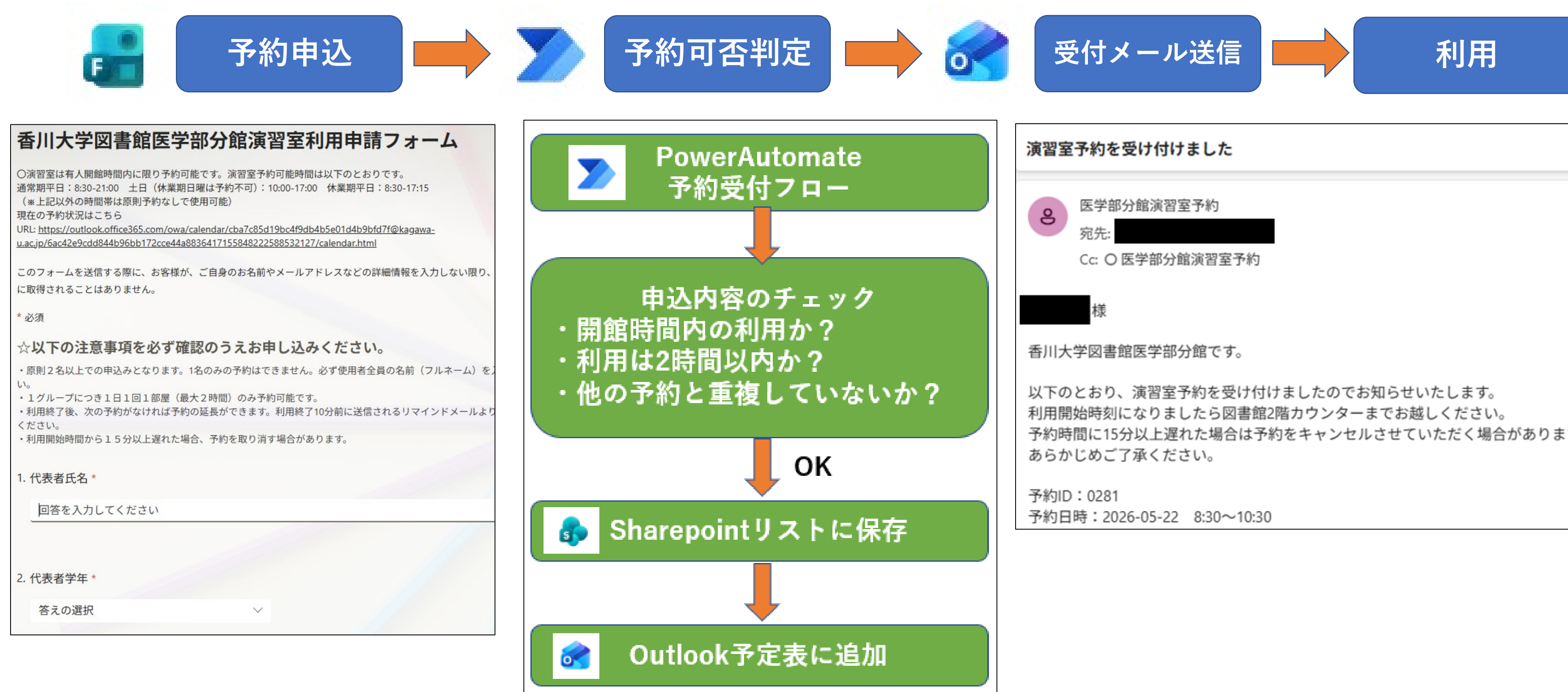
- ・利用者：予約・延長申請のたびに図書館カウンターに行く必要がある
- ・職員：予約確認、登録がすべて手作業のため対応に時間がかかる



→演習室予約申請をWeb上で完結できたら解決するのでは？

2. 演習室Web予約システムの開発

①予約申請～受付を自動化



終了10分前にリマインドメール自動送信
延長申請があれば延長受付フローで処理

⇒人に依存した処理から、ルールをシステムに落とし込んだ自動処理へ

②職員用予約管理アプリの開発

図書館職員側で演習室予約状況を把握できることを目的として開発

（アクセス権限を図書館職員に限定して運用）

- ・現在の予約状況が一目でわかる設計に
- ・予約検索機能あり
- ・予約の変更やキャンセルにも対応可

3. 導入後の効果

◎利用者：図書館カウンターに行かなくても24時間いつでも予約申請が可能に

⇒予約方法変更後もスムーズに利用が定着した

◎職員：カウンターでの演習室予約対応時間が1件あたり約5分→1分程度に

⇒他の業務等に時間を割けるようになり、サービスの質向上に寄与した

4. まとめ

・IT知識0でも学内ハンズオンや生成AI(Copilot)のおかげでWeb予約システムを開発できた

⇒日常業務における課題を起点に、業務改善を実現

5. 今後の展望

・不具合発生時のメンテナンス体制整備

・PowerBIによる演習室利用データ分析

→分析結果を基に演習室利用ルール見直し（閑散期の利用回数上限の緩和など）

・他の図書館や他部署などの施設予約業務への応用